

ひとり親家庭等の生活等に関するアンケート調査

報告書

平成31年3月

鎌倉市こどもみらい部こども相談課

ひとり親家庭等の生活等に関するアンケート調査結果

1 調査実施の目的

平成30年1月に、本市の子どもの貧困を含めた子育て世帯の現状を把握し、取り組むべき課題や施策の方向性等を分析するため、アンケート調査を行いました。その中でも、ひとり親世帯の約半数が貧困世帯であり、アンケート調査の結果を受けて、更に掘り下げた調査が必要であることから、ひとり親家庭の生活状況やニーズ等について、アンケート調査を実施しました。

2 調査方法等

ひとり親家庭のうち、児童扶養手当を受給している世帯について、毎年8月に実施している児童扶養手当現況届の提出に合わせて、アンケート調査を実施しました。事前に現況届の書類に同封・郵送し、現況届提出の面接時に回収しました。

【児童扶養手当の支給基準（平成29年所得）及び国の貧困線】

	扶養人数				
	0人	1人	2人	3人	4人
所得上限	192万円	230万円	268万円	306万円	344万円
国の貧困線	122万円	173万円	212万円	245万円	274万円

3 調査期間

平成30年8月1日から平成30年8月31日（10月15日回収分まで反映）

4 配付・回収状況

発送数	回収数	回収率
687件	501件	72.9%

5 調査項目

調査項目
1. ひとり親のご自身について
2. お子さんについて
3. ひとり親になったときに困ったこと
4. 児童扶養手当の使い道
5. 住宅について
6. 資格について（就労に有利になるようなもの）
7. ひとり親相談窓口の開設について
8. 市の子育て支援情報の入手について

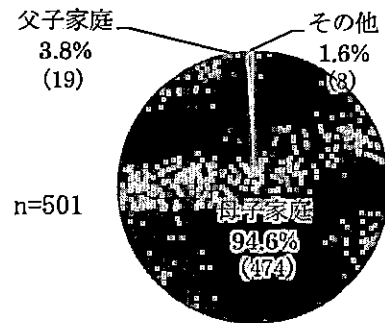
6 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ間)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい間)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

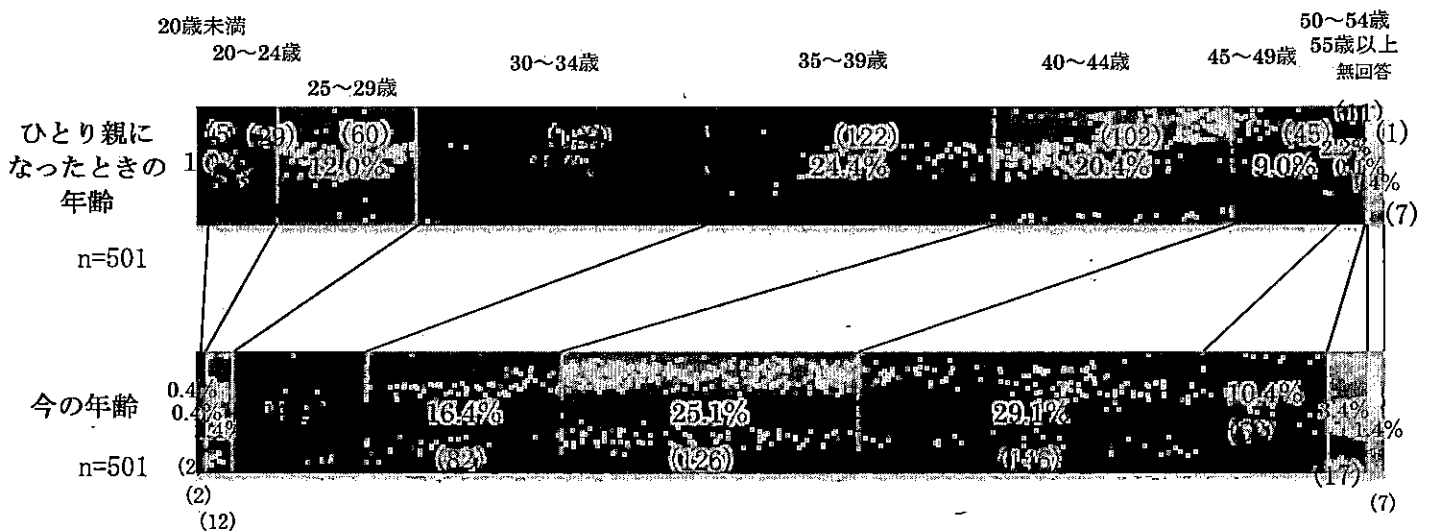
7 調査結果の詳細

(1) ひとり親のご自身について

回答を得たもののうち474件(94.6%)が母子家庭であり、父子家庭は19件(3.8%)であった。

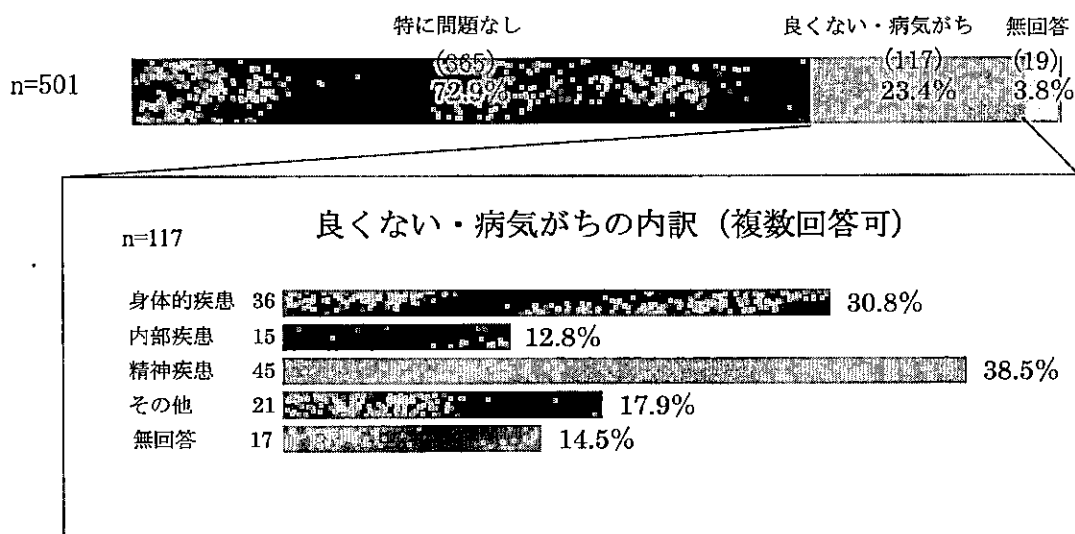


ひとり親になったときの年齢は「30歳～34歳」「35歳～39歳」がともに122件(24.4%)、「40歳～44歳」が102件(20.4%)となっており、ひとり親になる家庭は、約7割が30歳代から45歳までとなっている。現在の年齢は、「40歳～44歳」が126件(25.1%)、「45歳～49歳」が146件(29.1%)となっており、現在は、5割以上が40歳代となっている。



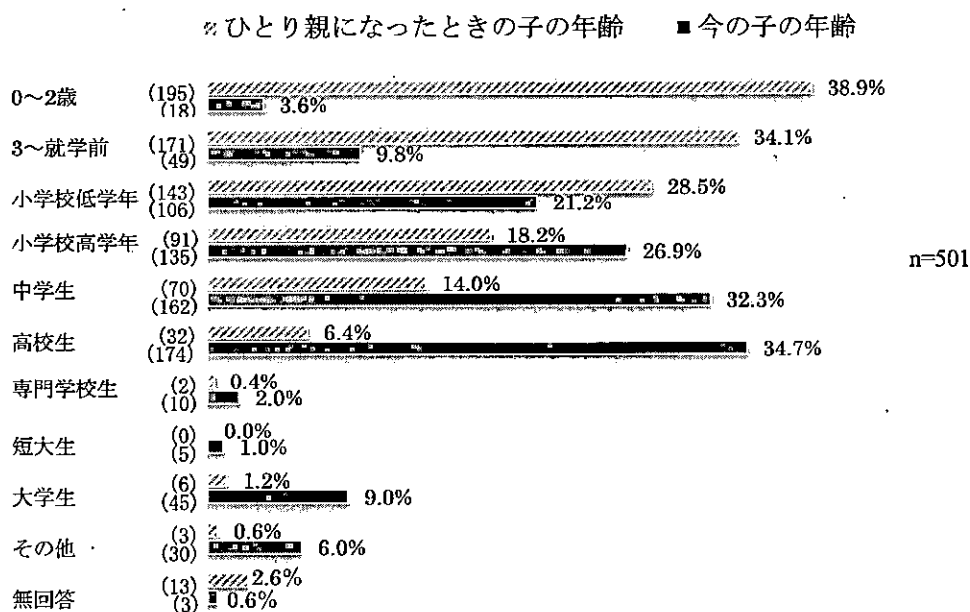
※複数回答があるため合計数が501(100%)にならない。

体調については、117人（23.4%）がよくないと答えておりそのうち45人（38.5%）が精神的疾患と答えている。



(2) お子さんについて【複数回答可】

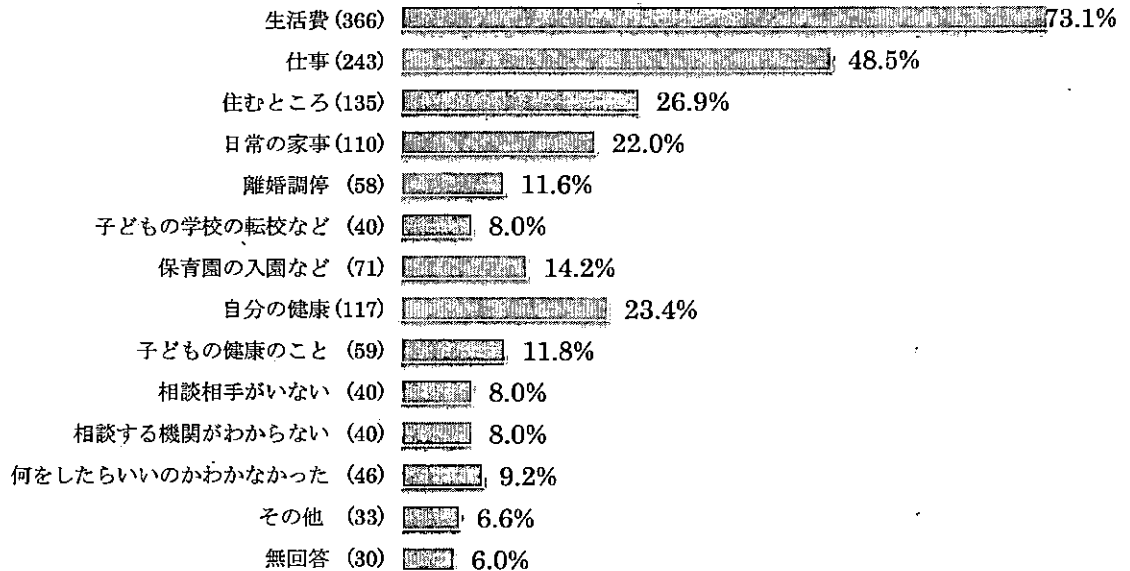
ひとり親になったときの子の年齢は「2歳以下」が195件（38.9%）、「3歳～就学前」が171件（34.1%）、「小学校低学年」が143件（28.5%）で、子どもが小学校低学年以下のころにひとり親になっている割合が高い。現在の子の年齢は、「小学校低学年」が106件（21.2%）、「小学校高学年」が135件（26.9%）、「中学生」が162件（32.3%）、「高校生」が174件（34.7%）であり、子の年齢が高い割合が高い。



(3) ひとり親になったときに困ったこと【複数回答可】

ひとり親になったときに困ったことは、「生活費」が366件（73.1%）、「仕事」が243件（48.5%）となっている。次いで「住むところ」135件（26.9%）、「自分の健康」が117件（23.4%）、「日常の家事」110件（22.0%）となっており、経済的に困っていたことが伺える。

ひとり親になったときに困ったこと n=501

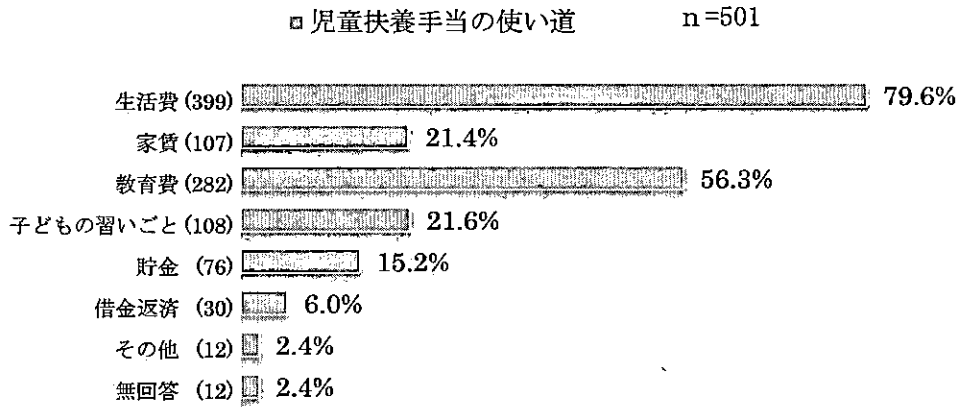


問9 ひとり親になったときに困ったこと(年齢ごと、複数回答可)

	20歳未満		20~24歳		25~29歳		30~34歳		35~39歳		40~44歳		45~49歳		50~54歳		55歳以上		年齢別		計	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
A 生活費	4	1%	23	5%	46	9.3%	97	19.6%	85	17.2%	66	13.4%	32	6.5%	7	1.4%	1	0.2%	5	1.0%	366	73.1%
B 仕事	4	1%	14	2.8%	33	7%	69	14.0%	54	10.9%	45	9.1%	19	3.8%	3	0.6%	0	0%	2	0%	243	48.5%
C 住むところ	2	0%	9	2%	21	4.3%	33	6.7%	34	6.9%	21	4.3%	11	2.2%	2	0.4%	0	0.0%	2	0.4%	135	26.9%
D 日常の家事	0	0%	7	1%	11	2.2%	26	5.3%	24	4.9%	25	5.1%	9	1.8%	4	0.8%	1	0.2%	3	0.6%	110	22.0%
E 離婚調停	1	0.2%	4	1%	9	1.8%	10	2.0%	12	2.4%	11	2.2%	7	1.4%	3	0.6%	0	0.0%	1	0.2%	58	11.6%
F 子どもの学校の転校など	0	0.0%	0	0%	5	1.0%	7	1.4%	14	2.8%	7	1.4%	5	1.0%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	40	8.0%
G 保育園の入園など	3	0.6%	4	1%	12	2.4%	23	4.7%	21	4.3%	7	1.4%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	71	14.2%
H 自分の健康	0	0.0%	8	2%	12	2.4%	31	6.3%	24	4.9%	24	4.9%	16	3.2%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%	117	23.4%
I 子どもの健康のこと	0	0.0%	3	1%	5	1.0%	16	3.2%	12	2.4%	13	2.6%	9	1.8%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	59	11.8%
J 相談相手がない	2	0.4%	4	1%	6	1.2%	7	1.4%	10	2.0%	10	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	40	8.0%
K 相談する機関がわからない	0	0.0%	5	1%	7	1.4%	7	1.4%	6	1.2%	11	2.2%	3	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	40	8.0%
L 何をしたらいいのかわかなかった	1	0.2%	2	0%	7	1.4%	11	2.2%	12	2.4%	10	2.0%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	46	9.2%
M その他	0	0%	3	1%	1	0%	9	2%	4	0.8%	11	2.2%	4	0.8%	1	0.2%	0	0%	0	0%	33	6.6%
N 無回答	0	0.0%	1	0.2%	4	0.8%	4	0.8%	8	1.6%	10	2.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.4%	30	6.0%
計	17	3.4%	87	17.6%	179	36.2%	350	70.9%	320	64.8%	271	54.9%	118	23.9%	26	5.3%	2	0.4%	18	3.6%	1388	277.0%
人数	5	1.0%	27	5.5%	59	11.9%	121	24.5%	121	24.5%	104	21.1%	45	9.1%	11	2.2%	1	0.2%	7	1.4%	501	100.0%

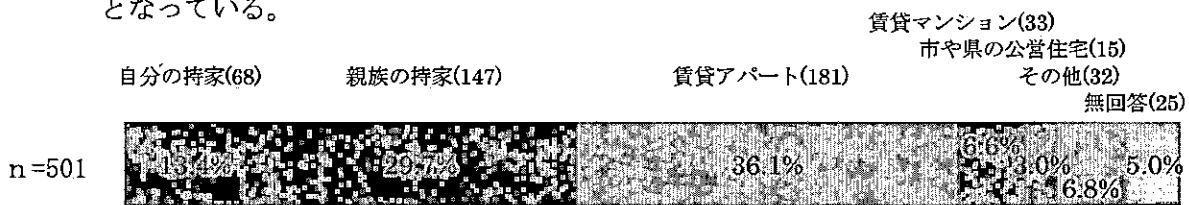
(4) 児童扶養手当の使い道【複数回答可】

児童扶養手当の使い道は、「生活費」が399件 (79.6%)、「教育費」が282件 (56.3%) となっている。次いで、「子どもの習い事」が108件 (21.6%)、「家賃」が107件 (21.4%) となっており、経済的に困っていることが伺える。

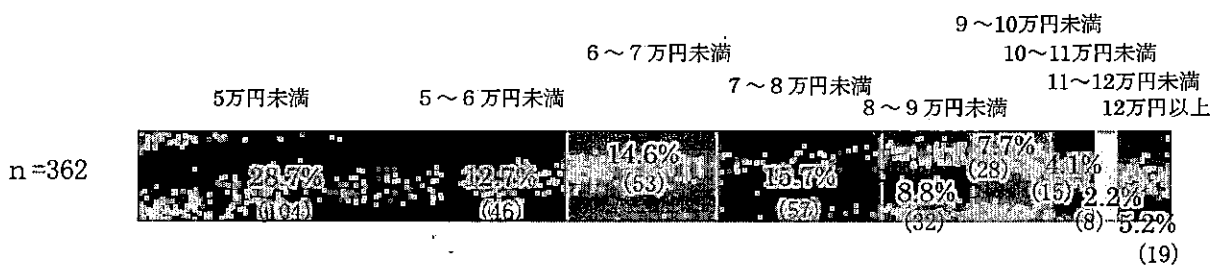


(5) 住宅について

今住んでいる住宅は、「賃貸アパート」が181件 (36.1%)、「親族の持家」が146件 (29.1%) となっている。



家賃は、「5万円未満」が104件 (28.7%)、次いで「7万円から8万円未満」が57件 (15.7%)、「6万円から7万円未満」が53件 (14.6%)、「5万円から6万円未満」が46件 (12.7%) であり、家賃8万円未満は、260件 (71.8%) となっている。

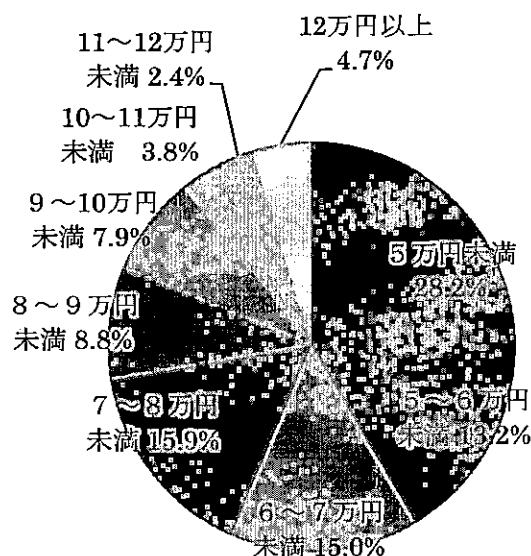


自分の持家以外に住んでいて、家賃を払っている方の家賃額については、「5万円未満」が96件（28.2%）、「7万円から8万円未満」が54件（15.9%）、「6万円から7万円未満」が51件（15.0%）、「5万円から6万円未満」が45件（13.2%）であり、家賃8万円未満は、246件（72.4%）となっている。

家賃はいくらか

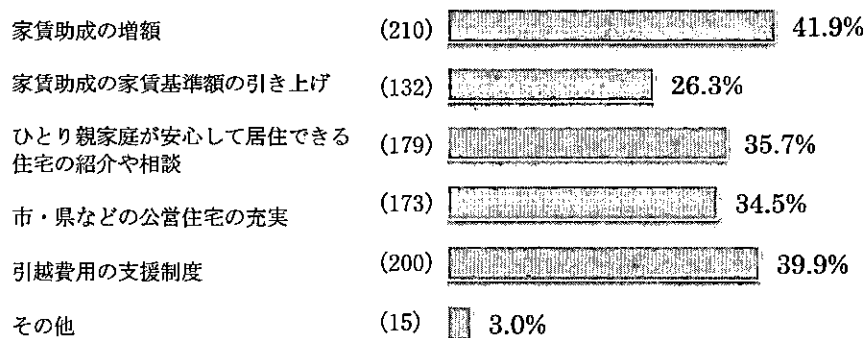
	個体数	割合
A 5万円未満	96	28.2%
B 5～6万円未満	45	13.2%
C 6～7万円未満	51	15.0%
D 7～8万円未満	54	15.9%
E 8～9万円未満	30	8.8%
F 9～10万円未満	27	7.9%
G 10～11万円未満	13	3.8%
H 11～12万円未満	8	2.4%
I 12万円以上	16	4.7%
計	340	100.0%

家賃額



住宅の支援で必要だと思う制度は、「家賃助成の増額」が210件（41.9%）、次いで「引越費用の助成」が200件（39.9%）、「ひとり親家庭が安心して居住できる住宅の照会や支援」が179件（35.7%）、「市・県などの公営住宅の充実」が173件（34.5%）、「家賃助成の家賃基準額の引き上げ」が132件（26.3%）となっている。

住宅支援について必要だと思う制度（複数回答可） n=501

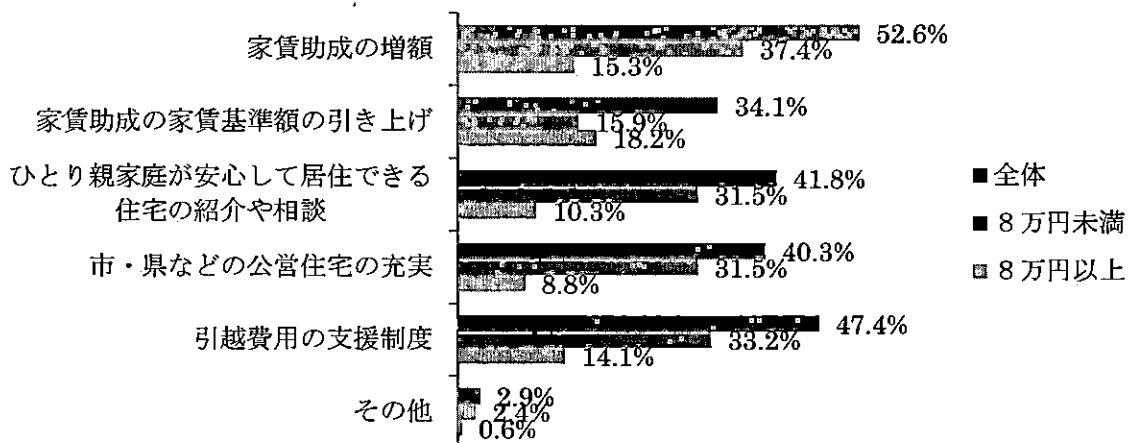


自分の持家以外に住んでいて、家賃を払っている方で、住宅支援について必要だと思う制度は「家賃助成の増額」が179件（52.6%）、次いで「引越費用の助成」が161件（47.4%）、「ひとり親家庭が安心して居住できる住宅の照会や支援」が142件（41.8%）、「市・県などの公営住宅の充実」が137件（40.3%）、「家賃助成の家賃基準額の引き上げ」が116件（34.1%）となっている。（複数回答可）

家賃額8万円を境とした内訳は、家賃8万円未満では、「家賃助成の増額」が127件（37.4%）、次いで「引越費用の助成」が113件（33.2%）、「市・県などの公営住宅の充実」及び「ひとり親家庭が安心して居住できる住宅の照会や支援」が107件（31.5%）、「家賃助成の家賃基準額の引き上げ」が54件（15.9%）、となっている。家賃8万円以上では、「家賃助成の家賃基準額の引き上げ」が62件（18.2%）と一番多く、次いで「家賃助成の増額」が52件（15.3%）、「引越費用の助成」が48件（14.1%）、「ひとり親家庭が安心して居住できる住宅の照会や支援」が35件（10.3%）、「市・県などの公営住宅の充実」が30件（8.8%）となっている。

家賃区分ごとの必要だと思う制度（複数回答可）

n=340

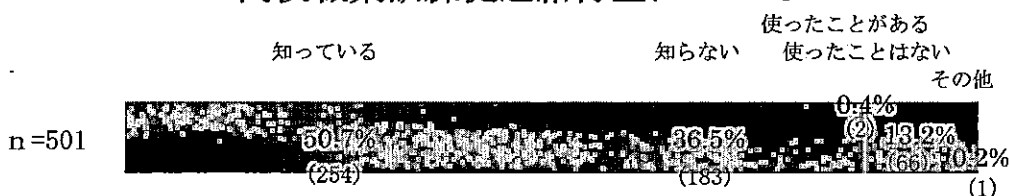


		個体数			割合		
		全体	8万未満	8万以上	全体	8万未満	8万以上
A	家賃助成の増額	179	127	52	52.6%	37.4%	15.3%
B	家賃助成の家賃基準額の引き上げ	116	54	62	34.1%	15.9%	18.2%
C	ひとり親家庭が安心して居住できる住宅の紹介や相談	142	107	35	41.8%	31.5%	10.3%
D	市・県などの公営住宅の充実	137	107	30	40.3%	31.5%	8.8%
E	引越費用の支援制度	161	113	48	47.4%	33.2%	14.1%
F	その他	10	8	2	2.9%	2.4%	0.6%
	計	745	516	229			
	個体数	340	246	94			

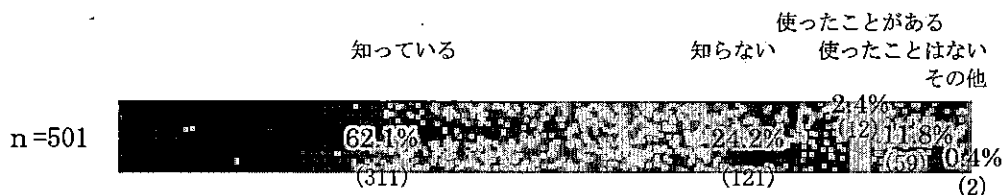
(6) 資格について（就労に有利になるようなもの）【複数回答可】

高等職業訓練促進給付金制度の認知度は、「知っている」が254件（50.7%）、「知らない」が183件（36.5%）。教育訓練給付金制度の認知度は、「知っている」が311件（62.1%）、「知らない」が121件（24.2%）となっている。

高校職業訓練促進給付金について



教育訓練給付金について



持っている資格は、「介護福祉士」が39件（7.8%）、「保育士」が24件（4.8%）、「看護師」が20件（4.0%）となっており、無回答が333件（66.5%）で特に資格がないと思われる。また、今後取得したい資格は、「社会福祉士」が25件（5.0%）、「調理師」が17件（3.4%）、「介護福祉士」が15件（3.0%）、「保育士」が12件（2.4%）で、無回答が436件（87.0%）となっている。

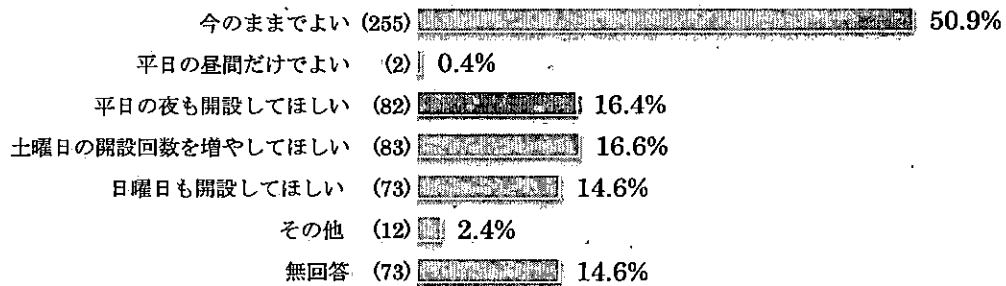
持っている資格		n=501	今後取得したいと思う資格		n=501
看護師	(20)	4.0%	看護師	(9)	1.8%
准看護師	(3)	0.6%	介護福祉士	(15)	3.0%
介護福祉士	(39)	7.8%	保育士	(12)	2.4%
保育士	(24)	4.8%	理学療法士	(5)	1.0%
助産師	(1)	0.2%	作業療法士	(3)	0.6%
美容師	(11)	2.2%	保健師	(3)	0.6%
社会福祉士	(3)	0.6%	助産師	(2)	0.4%
製菓衛生師	(1)	0.2%	美容師	(2)	0.4%
調理師	(15)	3.0%	社会福祉士	(25)	5.0%
その他	(67)	13.4%	製菓衛生師	(5)	1.0%
無回答	(333)	66.5%	調理師	(17)	3.4%
			無回答	(436)	87.0%

(7) ひとり親相談窓口の開設について【複数回答可】

現在、平日及び第2土曜日にひとり親相談窓口として開設しているが、「今のままでよい」が255件 (50.9%)、「土曜日の開設回数を増やしてほしい」が83件 (16.6%)、「平日の夜間も開設してほしい」が82件 (16.4%)、「日曜日も開設してほしい」が73件 (14.6%) となっている。

ひとり親相談窓口の開設について

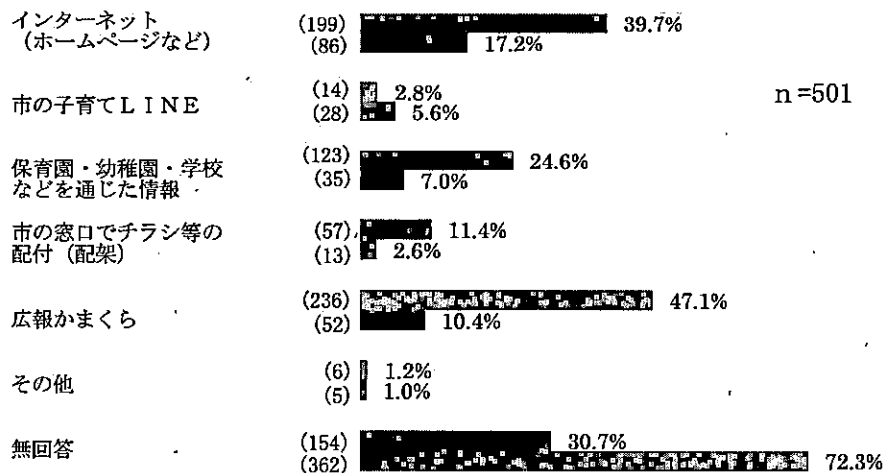
n=501



(8) 市の子育て支援情報の入手について【複数回答可】

ふだん情報を得ているものは、「広報かまくら」が236件 (47.1%)、「インターネット (ホームページ)」が199件 (39.7%)、「保育園・幼稚園・学校などを通じた情報」が123件 (24.6%) となっており、充実してほしいものは、「インターネット (ホームページ)」が86件 (17.2%)、「広報かまくら」が52件 (10.4%) となっている。

- ふだん情報を得ているもの
- 充実してほしいもの



年齢区分ごとのふだん情報を得ているものは、「45～49歳」の「広報かまくら」が73件（14.8%）と最も多く、次いで「40～44歳」の「広報かまくら」が58件（11.7%）、「40～44歳」の「インターネット（ホームページ）」が55件（11.1%）、「45～49歳」の「インターネット（ホームページ）」が50件（10.1%）などとなっている。

また、充実してほしいものは、「40～44歳」の「インターネット（ホームページ）」が27件（5.5%）、「45～49歳」の「インターネット（ホームページ）」が20件（4.0%）となっている。

問8-現在の年齢区分ごとの所感の入手

		20歳未満		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55歳以上		年齢なし		計	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
A	インターネット（ホームページなど）	0	0%	0	0%	7	1.4%	25	5.1%	35	7.1%	55	11.1%	50	10.1%	21	4.2%	4	0.8%	2	0.4%	199	39.7%
B	市の子育てLINE	0	0%	1	0.2%	0	0%	6	1.2%	2	0.4%	2	0.4%	1	0.2%	1	0.2%	0	0%	1	0%	14	2.8%
C	保育園・幼稚園・学校などを通じた情報	0	0%	0	0%	8	1.6%	19	3.8%	25	5.1%	32	6.5%	30	6.1%	6	1.2%	2	0.4%	1	0.2%	123	24.6%
D	市の窓口でチラシ等の配付（配架）	0	0%	0	0%	1	0.2%	6	1.2%	11	2.2%	14	2.8%	15	3.0%	5	1.0%	5	1.0%	0	0%	57	11.4%
E	広報かまくら	1	0.2%	0	0%	4	0.8%	23	5.9%	40	8.1%	58	11.7%	73	14.8%	22	4.5%	8	1.6%	1	0.2%	236	47.1%
F	その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	0.4%	1	0.2%	2	0.4%	1	0.2%	0	0%	0	0%	6	1.2%
	無回答	1	0.2%	1	0.2%	3	0.6%	13	2.6%	20	4.0%	40	8.1%	46	9.3%	19	3.8%	6	1.2%	5	1.0%	154	30.7%
	計	2	0.4%	2	0.4%	23	4.7%	98	19.8%	135	27.3%	202	40.8%	217	43.9%	76	15.2%	25	5.1%	10	2.0%	789	157.5%
	人数	2	0.4%	2	0.4%	12	2.4%	55	11.1%	82	16.6%	126	25.5%	146	29.6%	52	10.5%	17	3.4%	7	1.4%	501	100.0%

充実してほしいもの（複数回答可）

		20歳未満		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55歳以上		年齢なし		計	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
A	インターネット（ホームページなど）	0	0%	0	0%	3	0.6%	11	2.2%	15	3.0%	27	5.5%	20	4.0%	8	1.6%	2	0.4%	0	0.0%	86	17.2%
B	市の子育てLINE	0	0%	0	0%	0	0%	3	0.6%	8	1.6%	7	1.4%	7	1.4%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	28	5.6%
C	保育園・幼稚園・学校などを通じた情報	0	0%	0	0%	3	0.6%	2	0.4%	9	1.8%	10	2.0%	7	1.4%	2	0.4%	2	0.4%	0	0.0%	35	7.0%
D	市の窓口でチラシ等の配付（配架）	0	0%	0	0%	1	0.2%	0	0.0%	5	1.0%	4	0.8%	2	0.4%	1	0.2%	0	0%	0	0%	13	2.6%
E	広報かまくら	0	0%	0	0%	1	0.2%	6	1%	12	2.4%	17	3.4%	9	1.8%	6	1.2%	0	0%	1	0%	52	10.4%
F	その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	0.6%	2	0.4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	1.0%
	無回答	2	0.4%	2	0.4%	8	1.6%	33	7.9%	50	10.1%	85	17.2%	114	23.1%	40	8.1%	14	2.8%	6	1.2%	360	71.9%
	計	2	0.4%	2	0.4%	16	3.2%	61	12.3%	102	20.5%	152	30.8%	159	32.2%	59	11.9%	19	3.8%	7	1.4%	579	115.8%
	人数	2	0.4%	2	0.4%	12	2.4%	55	11.1%	82	16.6%	126	25.5%	146	29.6%	52	10.5%	17	3.4%	7	1.4%	501	100.0%

調 査 票

ひとり親家庭等の生活等に関するアンケート
～児童扶養手当受給の方へ～

市では、ひとり親家庭の皆さんの生活状況などについて、今後の支援の参考にさせていただくために、アンケート調査を実施するものです。回答の内容はアンケートの目的以外には一切利用いたしません。ご協力、よろしくお願いいたします。

問1 あなたご自身について (当てはまるものに○をしてください)			
(1) ひとり親家庭等の状況 A. 母子家庭 B. 父子家庭 C. その他 ()			
(2) 現在の年齢 A. 20歳未満 B. 20～24歳 C. 25～29歳 D. 30～34歳 E. 35～39歳 F. 40～44歳 G. 45～49歳 H. 50～54歳 I. 55歳以上			
(3) ひとり親になった年齢 A. 20歳未満 B. 20～24歳 C. 25～29歳 D. 30～34歳 E. 35～39歳 F. 40～44歳 G. 45～49歳 H. 50～54歳 I. 55歳以上			
(4) 体調について A. 特に問題なし B. よくない・病気がち (a身体的疾患 b内部疾患 c精神的疾患 dその他())			
問2 お子さんについて (当てはまるものすべてに○をしてください (複数回答可))			
(1) 現在の年齢 A. 0～2歳 B. 3歳～就学前 C. 小学校低学年 D. 小学校高学年 E. 中学生 F. 高校生 G. 専門学校生 H. 短大生 I. 大学生 J. その他 ()			
(2) ひとり親になったときの年齢 A. 0～2歳 B. 3歳～就学前 C. 小学校低学年 D. 小学校高学年 E. 中学生 F. 高校生 G. 専門学校生 H. 短大生 I. 大学生 J. その他 ()			
問3 ひとり親になったときに困ったことはありましたか。(当てはまるものに○をしてください (複数回答可))			
A. 生活費 B. 仕事 C. 住むところ D. 日常の家事 E. 離婚調停 F. 子どもの学校の転校など G. 保育園の入園など H. 自分の健康 I. 子どもの健康のこと J. 相談相手がない K. 相談する機関がわからない L. 何をしたらいいのかわかなかった M. その他 ()			
問4 児童扶養手当の使い道 (当てはまるものに○をしてください (複数回答可))			
A. 生活費 B. 家賃 C. 教育費 D. 子どもの習いごと E. 貯金 F. 借金返済 G. その他 ()			

問5 住宅について（当てはまるものに○をしてください）

(1) 今住んでいる住宅について

- A. 自分の持家 B. 親族の持家 C. 賃貸アパート D. 賃貸マンション
E. 市や県の公営住宅 F. シェアハウス G. その他（ ）

(2) 家賃について（共益費は除いた月額）

- A. 5万円未満 B. 5～6万円未満 C. 6～7万円未満
D. 7～8万円未満 E. 8～9万円未満 F. 9～10万円未満
G. 10～11万円未満 H. 11～12万円未満 I. 12万円以上（ 円）

(3) 住宅支援について必要だと思う制度（当てはまるものに○をしてください（複数回答可））

- A. 家賃助成の増額
B. 家賃助成の家賃基準額の引き上げ
C. ひとり親家庭が安心して居住できる住宅の紹介や相談
D. 市・県などの公営住宅の充実
E. 引越費用の支援制度
F. その他（ ）

問6 資格について（当てはまるものに○をしてください（複数回答可））

(1) 高校職業訓練促進給付金は知っていますか。

- A. 知っている B. 知らない C. 使ったことがある D. 使ったことはない
E. その他（ ）

(2) 教育訓練給付金は知っていますか。

- A. 知っている B. 知らない C. 使ったことがある D. 使ったことはない
E. その他（ ）

(3) あなたは次の資格を持っていますか。

- A. 看護師 B. 准看護師 C. 介護福祉士 D. 保育士 E. 理学療法士
F. 作業療法士 G. 保健師 H. 助産師 I. 理容師 J. 美容師
K. 社会福祉士 L. 製菓衛生師 M. 調理師 N. その他（ ）
上記の資格のうち今後取得したいと思っている資格はありますか⇒（ ）

問7 ひとり親相談窓口の開設について（当てはまるものに○をしてください）

（現在、平日及び第2土曜日 8：30～17：00 に開設しています。）

- A. 今のままでよい B. 平日の昼間だけでよい C. 平日の夜も開設してほしい
D. 土曜日の開設回数を増やしてほしい E. 日曜日も開設してほしい
F. その他（ ）

問8 市の子育て情報の入手について（当てはまるものに○をしてください（複数回答可））

	ふだん情報を 得ているもの	充実して ほしいもの
A. インターネット（ホームページなど）		
B. 市の子育てLINE		
C. 保育園・幼稚園・学校などを通じた情報		
D. 市の窓口でチラシ等の配付（配架）		
E. 広報かまくら		
F. その他（ ）		

ご協力ありがとうございました。

ひとり親家庭等の生活等に関するアンケート調査

報告書

平成 31 年 3 月

鎌倉市

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

こどもみらい部こども相談課

電話：0467-23-3000（代表）